



学校だより かけ橋

パート 2

横須賀市立汐入小学校 校長室

2013. 2. 12

No. 22

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

働くことの意味

1月24日の学校だよりでご紹介した6年生の職業体験が無事終了しました。ご協力いただいた 山口屋さん、横須賀幼稚園、いのまた生花店、総合福祉会館 のみなさま、いろいろとお世話になりありがとうございました。

実際、どれくらいお役に立てたか分かりませんが、子どもたちの感想を読むと、子どもにとって、有意義な学びになったことが分かります。いくつかご紹介します。

むずかしかったけど、いつも大変な思いをして働いていることがわかった。たくさんのお花のためにすごい重労働をしているんだと思った。

お店に出すために、たくさんの苦労があるので、感謝しようと思います。

あいさつができた。車椅子のたたみ方や説明が大変だった。

やさしい声をかけてあげないと、何をしたいのか分からない生徒がたくさんいました。ぼくは、お兄ちゃん先生と呼んでもらい、すごくかわいかったです。仕事とは、1秒1秒を大切に、責任を持って取り組むとても貴重なものとよくわかりました。



児童の見守りをする町内の方々。登校は毎日、下校は月に1回やっただいています。



保健給食委員会の手作りポスターです。良く見ると知っている顔があります。



食物アレルギー

昨年12月、東京の小学校で、乳製品にアレルギーのある子どもが、給食を食べた後に死亡するという事故が発生しました。学校も保護者も注意していたのに防げなかったようです。この事故の詳細については、新聞報道等に譲りますが、ここでは、横須賀市の対応と本校の現状についてお伝えします。

横須賀市では、平成22年10月に「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を作成しました。これだけを書くと、突然出てきたように感じるかもしれませんが、平成18年に「学校給食食物アレルギー対策委員会」が設置され、様々な調査研究がなされました。その中で、まずは、食物アレルギーを持つ児童の現状を学校として受けとめ、保護者との相互理解の上、その子にとってできる限り適切な対応ができるようにしていこうという目的で、このマニュアルを作成しました。

「食物アレルギーについて」「発生時の対応について」「発生防止のために」「もっと詳しく食物アレルギー」という大きな4つの章に分かれています。最後の章には、商品名エビペンというアドレナリン注射薬の使い方も載っています。

本校でも、上記のマニュアルに従って対応しています。何と言っても基本は、保護者の方と学校とのこまめな情報交換だと思います。個々の児童への食物アレルギーの対応を始める時には、保護者、管理職、担任、養護教諭、学校栄養職員で話し合いを持ち、具体的な対応の仕方を決めます。その後、必要書類等を提出してもらい、対応がスタートします。

本校でも、話し合いをして、食物アレルギー対応をしている子どもが何人かいます。

いずれにしても、その子の状況を良く見て、あせらずにいねいな対応を心がけるようにしています。今後とも、何か気になることがあれば、すぐに、ご相談ください。

体罰の実態把握に関する緊急調査

横須賀市教育委員会から表記の調査用紙が送られてきました。内容をよくお読みいただき、適切な対処をお願いいたします。

調査目的 : 教員による体罰の防止に向けた取り組みを進めるため

用紙配布日 : 2月13日(水) (一人1セット配布します。)

配布物 : ①調査のお願い及び問題用紙

②回答用紙

③提出用封筒 (ポストに投函します。)

回答期限 : 2月20日(水)

該当する項目がない場合は、提出する必要はありません。